

11月7日（木）

命をまもるためにできること ～総合避難訓練～

5歳 はっぴーぐみ



たくさんの発見、疑問がでてきたはっぴーぐみ。

「どうして このぼうしはかたいんですか？」

→火事や地震の時に、頭を守るためのヘルメットだよ。ここに傷があるのは、硬いものが落ちてきたからなんだよ。

「このふくのなまえはなんですか？」

いつものふくとはなにがちがうの？」

→“防火衣”といいます。いつも着ている服より頑丈で、火が燃えにくい素材でできているんだよ。

「こえがでてくるマイクみたいなものはなに？」

→“無線”といいます。離れたところにも、声がきこえ、話せるようになってます。なにかあったときには、無線に知らせがくるよ。

ひとつ聞くと、どんどん知りたくなってくる！

本物の消防士さんから聞ける話って楽しいね、かっこいいね！



たくさんおしえてくれて
ありがとう！！
きをつけて
いってらっしゃーい！！

4歳 ほしぐみ



「今は大切な時間」
「次はたのしむ時間」
その時の雰囲気をしっかり見極め、
過ごしているこどもたち。
本物の消防車に触れることで
「これはなんだろう？」
「かっこいいな」
様々な気持ちをかんじています。

3歳 つきぐみ



つきぐみさんたちのまっすぐな視線の先には、
保育園の大人や、消防士さん。
避難する時には、大人のところへ集まり、
一緒に避難します。そして、大切な話をしている雰囲気は、
こどもたちにもしっかり伝わっています。

消防士さんにも「これはなに？」と 興味津々なこどもたち。
やりとりが微笑ましいひとときでした。



大人の役割は…。



救命講習や消火訓練は
命を守るために必要なもの。
大人も真剣に取り組めます。

そして、安全に逃げるためには、
どうしたらよいのか…
大人もこどもも一緒に考えます。



だからこそ、週末の靴の持ち帰りでは、
靴のサイズの確認も大切です。
おうちの方々、よろしくお願いいたします！

